

東秩父

- ①中村 智哉 6年
- ②前田 浩孝 6年
- ③田中 奨瑛 6年
- ④宇根 匠哉 6年
- ⑤田中 滉大 6年
- ⑥鈴木 悠斗 5年
- ⑦落合 賢太 5年
- ⑧藤守 宥也 6年
- ⑨引間 雄太 6年
- ⑩関口 紘大 6年
- ⑪護守 啓佑 4年
- ⑫関口 晴 3年



準優勝の上平



初優勝の東秩父

「最後の大会。悔いなく楽しもう」。試合前の田陣で主将の成田悠真は仲間を鼓舞した。好機や好守など今夏覇者らしい戦いぶりを見せたが、東秩父に一步及ばなかった。

六回に代打高山光哉の左前打や小橋真人の死球など好機を築いたが、後が続かない。

一矢報いたい七回には、「主将として打たなくては」と成田が初球を左前に運ぶと、藤村美輝も続いた。犠打で送り、最終回にして一番の絶好機にスタンドの応援にも力がいった。しかし、

覇者の意地 一步及ばず

「一本出るか出ないかの差だけ。悔しい」。金子敦志監督は夏秋連覇目前の惜敗に悔しさをにじませたが、「選手は良く頑張った」と最後はナインをねぎらった。

夏の快挙から5カ月。5年時は、市内の大会でも2回戦進出がやっとだった。しかし今年は多くの大会で躍進を見せた。最後は涙を拭いたサインだが、勇ましく戦い抜いたこの一年は、多くの人々に感動を与えたに違いない。



4回裏の危機にマウンドに集まる上平サイン